

中学生の主張・作文が表彰されました



中学生の主張大会

第36回中学生の主張大会が11月3日、たましんRISURUホールで行われました。当日は市内中学生3465人の応募から選ばれた中学生が、日常生活において、家族や友人、社会との関わりの中で気付き、考えたことを発表しました。主な入賞者は次の通りです。《敬称略》

▼市長賞 今中千尋(三中2年)
▼議長賞 野村未恭(二中1年)、

山下紗弥(七中3年) ▼教育長賞
小高海音(一中3年)、益子華歩(五中3年) ▼特別賞 加藤愛(五中3年)、大井葉月(九中3年)
▼子ども育成課青少年係・内線1305

「税についての作文」「税の標語」表彰

次代を担う中学生の皆さんに税への関心と理解を深めてもらうことを目的としているコン

全国中学生人権作文コンテスト

中学生が人権尊重の大切さを考え、豊かな人権感覚を身につけることを目的に開催される「全国中学生人権作文コンテスト」で市内中学生が下表の通り入賞し、立川市人権作文表彰式

氏名《敬称略》	学校学年	受賞
永曾 萌果	七中3年	市長賞・立川地区人権擁護委員会最優秀賞・東京都大会最優秀賞
小林 岳	六中3年	立川地区人権擁護委員会優秀賞・東京都大会奨励賞
関矢 明華	七中3年	
大島 由佳	五中3年	
山下 紗弥	七中3年	立川地区人権擁護委員会入選・多摩西人権擁護委員協議会長賞
廣田 千陽	七中3年	
小野 風子	四中3年	
右田 真聖	五中2年	
中林 美結	一中2年	立川地区人権擁護委員会佳作
五十嵐 亜美	七中3年	

で表彰されました(下写真)。なお、永曾さんは、全国大会

第36回中学生の主張大会

市長賞

真の幸せ

今中千尋(三中2年)



私はスマートフォンを持っていません。周りのみんなは持っていて私も欲しいのですがスマートフォンに夢中になって勉強しなくなる、ネットにつながっていて危険だなどという理由から買ってもらえません。今の時代ほとんどの人が持っていて、ゲームをしたり写真を撮ったりラインをしています。私もともうやましいけれど、スマホなんてなくてもいい、へっちゃらという顔をしています。でもやっぱり本当は欲しいのです。スマートフォンを買ってもらえない自分を少し不幸だと思いました。

そんな時、テレビで聞いたこの言葉が胸に響きました。世界で一番貧しいといわれているウルグアイの大統領、ムヒカさんの言葉です。「貧乏な人とは、少ししか物を持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ。発展は人類に幸福をもたらすものでなくてはなりません。」

ある日、電車に乗って辺りを見渡すと、人々の目線の先は必ずといっていいほどスマートフォンに向けられていてとても不思議な光景だと思いました。みんな下を向いてスマートフォンをいじっているの、お年寄りや妊婦さんなど困っている人がいても、気が付かないのです。スマートフォンは時刻表を調べたりできて役に立つかもしれませんが、周りの人へ配慮をする優しい気持ちを無くしてしまいました。文明は人を幸せにするためのものなのに、使い方次第で良くも悪くもなります。

発展途上国の子どもたちはスマートフォンなんて知りません。だから欲しがりません。

でも、彼らが不幸せでしょうか。どちらかという、仕事や勉強で疲れてスマホを片手に帰ってきた日本人よりも、ずっとキラキラとした目の子どもたちです。貧しくても、幸せなのです。

幸せって何だろう。みなさんはどういうときに幸せって思いますか？ 私は健康でいること、家族で過ごす時間、他愛もないことで友達と笑う瞬間、あたたかい布団に寝られること、困っている人の力になれた時、今この瞬間に生きていること、そんな時に幸せを感じます。たくさん物を持っている人が幸せなのではない。きれいな服を着ている人が偉いわけでもありません。

人は皆、何も持たず生まれてきました。物の豊かさが人を幸せにするものではありません。他人を思いやる心や助け合う心など心の豊かさが人を幸せにするのです。

私はスマートフォンを持って、それに夢中になって他のことをおろそかにしてしまったり、危険を理解し責任をもって取り扱うことがまだできないと思い、スマートフォンを買ってくれない両親の考えを少し理解できました。

スマートフォンを持ってなくても一緒に楽しく遊んでくれる友達、スマートフォンを通じてではなく目と目を合わせてたくさん楽しい話をしたり、じゃれあったりしてくれる友達は私にとって宝物です。

そう、スマートフォンを持ってなくても、十分に私は幸せだったのです。

私は、身なりや持ち物に満足するのではなく、心の幸せを大切にしていきたいと思えます。

子どもからの人権メッセージ発表会



11月19日、町田市市民ホールで「第13回子どもからの人権メッセージ発表会」が行われ、17市町村の子どもたちが人権に関する体験を発表しました。市内からは南砂小6年生の柴田紗雪さんが出場し、聴覚障害者で初のエベレスト登頂に成功した田村聡さんの講演や立川ろう学校での体験を通して考えた「チャレンジすることの大切さ」について500人の聴衆を前に堂々と意見を述べました。

南砂小大規模改修工事の延期等に関する説明会

28)4319

南砂小の校舎は平成29年度に大規模改修工事を予定していましたが、外壁にアスベストが含まれていることが判明し、改修時の処理方法を新たに検討する必要があるため校舎の改修工事は延期となりました(体育館とプールの改修工事は予定通り平成29年度に実施)。

校舎の改修工事の延期と体育館等の改修工事について、南砂小で説明会を開催します。説明会では、工事の進捗状況や安全対策について詳しく説明いたします。ご参加ください。

【説明会開催日時】11月25日(土)午前10時～午後0時30分
【会場】立川市立南砂小学校 体育館
【参加費】無料
【申し込み】11月23日(木)まで、電話またはメールにて申し込みをお願いします。

電話 ☎042-525-1340
メール info@nansha-hs.jp



立川市人権作文表彰式の様子

でも法務省人権擁護局長賞を受賞しました。

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

「子どもとおとなのはなしあい」in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集

【子どもとおとなのはなしあい】in市議会議場」参加者募集